

「自治会の女性参画はじめかた～小野市の取組に学ぶ～」を開催しました！

「役員は男性ばかり…」 「マンネリ化した自治会運営を変えたい」——そんなお悩みはありませんか？

地域活動において、自治会に眠る「思い込み」に気づき、女性に関わる手法を見つけることは、多様な意見で地域を活気づけ、課題を解決する「みんなの自治会」への第一歩となります。今回は、兵庫県小野市の先進的な取組（2013年の女性役員登用する自治会の割合が15%から2023年には60%へと向上した実績など）をヒントに、多様な人が関わる地域づくりについて考えました。

当日の様子

当日は、木之本地域や長浜地域をはじめ市内各地から、男女あわせて11名の参加者が集まりました。

講師には、元小学校長であり、兵庫県内での市町男女共同参画計画や女性リーダー養成等に幅広く携わられてこられた、オフィスEEE代表の中村 和子 氏をお招きし、講演・ワークショップを開催しました。



①講演会

小野市の先進的な取組事例を通じ、自治会の女性参画を進める具体的な手法や、地域に眠る「思い込み」に気づくことの重要性を学びました。「**実践された経験からの話なのでストンと理解できた**」「**とてもわかりやすく楽しいセミナーだった**」といった感想が寄せられ、参加者にとっても、地域づくりのあり方を再認識する大きなきっかけとなりました。

②ワークショップ

講演を踏まえ、グループに分かれて意見交換を行いました。

当日は、箱の中から「女性役員が増えない理由」が書かれたカードを引いて、カードの赤字のポイントを参考に自由に意見交換を行いながら、その内容を「あるある」「まああるかな」「ないない」に分類して話し合いました。参加者からは

「**他の地域の方の話が聞けてよかった**」「**課題・問題の共有ができた。今後は解決策の具体案を考えたい**」といった声があり、活発な意見交換が行われました。



まとめ

日頃の「役員は男性ばかり」といった地域の意識やしくみを見直し、女性をはじめとする**多様な視点を取り入れること**が、マンネリ化した自治会運営を変え、誰もが参画しやすい地域づくりにつながると学びました。多様な人々の声が届き、そのニーズが配慮される持続可能な地域を進めるためにも、普段の暮らしにある地域づくりの「**決める場**」への**女性参画の重要性**を改めて感じました。

市では、地域づくりについて、女性の参画を検討している団体に専門的な知識や経験のあるアドバイザーを派遣しています。ぜひご活用ください。